

## 協働事業評価結果(平成20年度実施事業)

順位	団体名(事業担当課)	事業名	総 評
1	根木内歴史公園サポーター (公園緑地課)	皆でつくる根木内歴史公園事業	全体的に高い評価でした。 協働を効果的に活用して公園の多角的な活用と管理を実現した好例である。ただ、市民活動の継続性をどのように担保するかは今後の課題である。
2	松戸子育てフェスティバル実行委員会 (児童福祉課)	子育てフェスティバル事業	協働事業の有効性・事業の独創性が高い評価でした。 フェスティバルによって子育て関係団体のネットワークを繋ぎ、単独の団体だけでは解決困難な問題を解決に繋げる仕組みとして、大きな意義がある。協働という形態でなければなかなか実現しないテーマだと思われる。
3	アースコン・マツド (環境計画課)	「地球にやさしい行動宣言」推進事業	全体的に高い評価でした。 CO2削減に対する市の取組みの認識度を上げたことは高く評価できる。ただ、メインの環境家計簿の普及については今後の課題である。
4	NPO法人外国人の子どものための勉強会 (市・企画管理室)	外国人の子ども支援事業	協働事業の有効性・事業の独創性が高い評価でした。 一般市民のボランティアへの関心が高く、スタッフ養成講座へ多くの参加があった、今後、継続的な活動が大事なので、そのための資金を捻出することに期待したい。
4	NPO法人松戸子育てさぽーとホームページ (児童福祉課)	松戸子育て情報サイト「まつどあ」ホームページの作成および管理運営事業	協働事業の有効性・事業の独創性が高い評価でした。 子育て情報HPを当事者目線で企画運営されたことは、高く評価される、しかし、今後資金面等の充実が課題と思われる。
6	NPO法人 おかねの楽校 (生・企画管理室)	小学生・保護者向け金銭教育事業	協働事業の独創性が高い評価でした。 金銭教育事業は有効なテーマであり今後も継続的に続けてほしい事業であるが、事業経費に対し参加人員が少ない、人数を増やす努力が必要(講師派遣など)
7	NPO法人成年後見センターしぐなるあいず (介護支援課・障害福祉課)	市民後見人養成事業	協働事業の独創性が高い評価でした。 成年後見制度の周知という点では成果があった。しかし、講演会の開催だけでは協働の意義は大きくないが、今後も周知を高めるためには引き続き地道に続けてほしい。
8	松戸子どもの文化連絡会 (図書館)	子どもへの読書普及事業	事業の有効性は高い評価でした、しかし、先見性、独創性の評価は少し低かった。 「子ども読書フェスタ」等のイベントを開催するだけであるならば、協働の意義は大きくないが、このイベントを通じて市民団体相互のネットワーク形成を目標とするならば、意義は高まったのではないかと。
9	まつど版サポート資源提供システム創る会 (協働推進課)	協働推進計画策定に係る市民フォーラム事業	先見性、独創性が少し低い評価でした。 集客に苦勞されている、幅広い市民の感覚や意見をバランスよく計画に反映するという視点からは十分な成果を上げることができなかった。

## 市民活動助成事業評価結果(平成20年度実施事業)

順位	団体名	事業名	総 評
1	松戸里やま応援団四季の会	ホダシの森 保全育成事業	助成の必要性・実施内容の妥当性が高い評価でした。 活動の成果が目に見えてよく分かる、グループホームとの交流や地域との交流などコミュニケーションの場として機能しており評価できる。
2	「まつど子育て・孫育てガイドブック」編集プロジェクト	まつど子育て・孫育てガイドブック作成事業	助成の必要性が高い評価でした。 当事者目線での情報交流は市民活動として最も有効なテーマの1つである、今後、事業が収益事業として展開できると更に良いと思う。
3	まつど版サポート資源提供システム創る会	人材バンク「まつどの先生」プログラム事業	全体的に平均的評価でした。 先生を集めることは進んでいるが、先生の発表の場が無い、これからの活用先を考えることが課題である。
4	NPO法人ワーカーズコープ千葉事務所	多世代交流の場としての子供の居場所づくり事業	全体的に平均的評価でした。 居場所づくりの効果は上がっていると思われるが、「多世代交流の場」という事業目的に対して効果が不明確であり、今後の課題と思われる。
5	しごとサポートゆうかり	働きたい女性の就労支援～家族で出来る協力体制を考えよう～	事業の将来性が少し低い評価でした。 女性就労の土台(家庭)の整備に取り組むところが面白い。ただ、夫(男)を引き込むやり方の開発が課題と思われる。